

令和五年度 *民間園長研修会*

期 日 令和五年十一月二十日(月) ~ 二十一日(火)

会 場 熱海後楽園ホテル

参加者 一五二名

今年度の民間園長研修会は熱海市の後楽園ホテルで開催されました。一日目の講義①は講師に静岡県健康福祉部こども未来課長鈴木安由美氏による「保育行政の動向について」ということで、静岡県の取組についてご講義いただきました。県の子育て支援の方向性をかわきりに、少子高齢化の現状や結婚支援に力をいれていること、出合いの機会の提供や、その後の子育てをするうえで将来のライフデザインを描く等、子育て世代が安心して子育てできる基盤づくりが目的とのことでした。その他にも保育人材の確保、離職防止と定着促進等を目的とした事業や潜在保育士の復帰支援事業も行っているそうです。その他には、保育士処遇改善として保育等キャリアアップ研修の本県における受講状況もお話して頂きました。最後に静岡県内における不適切保育についてお話があり、不適切保育防止に向けた取組として研修や未然の防止として事例の共有、さらには保育施設等からの通報相談窓口の設置など施設側にとっても大変有意義なお話をいただきました。



講義②は講師に全国私立保育連盟 保育制度検討会単価検討部会 部会長 大森康雄氏による「公定価格の仕組み」についてご講義いただきました。公定価格の歴史から始まり子ども・子育て支援新制度の概要といったお話しに続き、公定価格は平成二十六年まででの保育所運営費がベースになっていきます。公定価格の基本分単価に含まれる科目の内訳は大きく分けて①人件費、②管理費、③

事業費の三つです。①人件費のうち常勤職員給与は「本俸・特別給与改善費・特殊業務手当・諸手当・社会保険事業主負担分」からなり、非常勤職員雇上費は「嘱託医手当・嘱託歯科医手当・非常勤職員雇上費(保育士、事務員、調理員)・年休代替要員費・研修代替要員費」からなります。②管理費は職員数に比例して積算されるものは「旅費・職員研修費・被服費・職員健康管理費・業務省力化等勤務条件改善費」、また園児数に比例して積算されるものは「保健衛生費」、また一施設当たりの費用として積算されるものは「補修費・特別管理費・苦情解決対策費」からなります。③事業費は一般生活費として「三歳未満児のみ給食材料費・保育材料費・光熱水道費・炊具食器代」からなります。

加算・調整部分の内訳は①加算部分一のうち人件費は「処遇改善等加算Ⅰ・三歳児配置改善加算・休日保育加算・夜間保育加算・チーム保育推進加算」、管理費は「減価償却加算・賃借料加算」、事業費は「副食費徴収免除加算」からなります。②調整部分のうち減算部分は「分園・施設長を配置していない・土曜日を閉所する・定員を恒常的に超過する場合」となります。③加算部分二のうち人件費は「主任保育士専任加算・療育支援加算・事務職員雇上費加算・高齢者活躍促進加算・栄養管理加算・処遇改善費等加算Ⅱ・処遇改善費等加算Ⅲ」、管理費は「施設機能強化推進費加算・小学校接続加算・第三者評価受審加算・冷暖房費加算・除雪費加算・降灰除去費加算」か



らなります。他に地域区分のお話、保育基本分単価内訳試算表の説明、民間給与等改善費から処遇改善等加算に変わった経緯のお話をお聞きし、人事院勧告分と処遇改善費等加算Iの支給方法によるメリット・デメリット等のお話を聞きました。

公定価格という言葉は園の運営者である私たちにとり身近なのですが、複雑な部分が多く理解に苦しんでいましたが、こうして改めて講義をお聞きしたことでとても勉強になりました。

講義③は岐阜県民間保育園・認定こども園連盟研修部長・社会福祉法人堂角舎かみいしづこどもの森園長の脇淵竜舟氏による「保育所供給過多時代を生き抜く〜PR（広報）という武器を携えて〜」というテーマの講義でした。

少子化が進む中、園としてどのような方法で集客につなげることができるとかという課題に一つの手段としてPR（広報）という武器があるとのお話で、「広報」と「広告」との違いやその客観性や公共性の特徴と訴求力について考察され、その訴求対象は、在園児の保護者であることやPRを活かすには、何よりも保護者へのサービスが必要であることを力説されました。

また、PRの訴求力を高めるためにも保育内容の充実や子供の成長にとって大切な保育環境の設定やバランスのある教育環境が必要であること。保護者への情報提供のあり方の工夫、更には、外部イベント等を行い園の特徴を積極的に情報公開する広報活動を行うことで保護者に興味と満足感を持ってもらうことにより集客する実践に基づいた経営戦略を展開されました。

結局、PRという武器が、その効果を存分に発揮するためには、園自体が園児も保護者も保育者も三方が、ワクワクするような魅力的な園になるような必要があるとも語られました。実践の中で築かれたこの経営は、私達に非常に有意義な教示を与えてくれる講義だと感じました。

